Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-16

# はじめに

石川, 慎一郎

(Citation)
統計数理研究所共同研究リポート,469

(Issue Date)
2024-03-25

(Resource Type)
other

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100487699

# はじめに

本報告書は，2023 年度に実施された統計数理研究所共同利用研究（一般研究 1）「言語資料解析における量的手法（A Quantitative Approach to Analysis of Language Data）」（課題番号：2023-ISMCRP-1005）（研究代表者：石川慎一郎）の成果をまとめたものである。本報告書は，統計数理研究所共同研究リポート No. 469 として刊行された。


代表者・報告書編者

| | | |
|---|---|---|
| 石川 慎一郎 | 神戸大学 | 教授 |

所内共同研究者

| | | |
|---|---|---|
| 前田 忠彦 | 統計数理研究所 | 准教授 |

共同研究者（上記 2 名を除く）

| | | |
|---|---|---|
| 井上 聡 | 環太平洋大学 | 教授 |
| 中尾 桂子 | 大妻女子大学短期大学部 | 教授 |
| 今道 晴彦 | 広島大学 | 准教授 |
| 李 楓 | 西安理工大学 | 准教授 |
| 森下 裕三 | 桃山学院大学 | 准教授 |
| 張 晶鑫 | 湖北大学 | 准教授 |
| 鄧 琪 | 東北大学 | 講師 |
| 曹 卓琦 | 湖南農業大学 | 講師 |
| 陳 迪 | 神戸大学大学院国際文化学研究科 | 博士後期課程 |
| 廉 沢奇 | 神戸大学大学院国際文化学研究科 | 博士前期課程 |
| 飯島 真之 | 神戸大学大学院国際文化学研究科 | 博士前期課程 |



発行所　統計数理研究所（〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3　Tel 050-5533-8500）

発行日　2023 年 3 月 25 日

オンライン版発行所　神戸大学大学教育推進機構石川慎一郎研究室（〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 1-2-1 Tel 078-881-1212）

## 過去の研究課題・リポート番号

平成 17（2005）年度
　言語コーパスからの共起語検出における統計指標の研究（No. 190）
平成 18（2006）年度
　日英語の基本語の抽出における統計（No. 199）
平成 19（2007）年度
　学習者コーパスの解析に基づく客観的作文評価指標の検討（No. 215）
平成 20（2008）年度
　コーパス言語研究における量的データ処理のための統計手法の概観（No. 232）
平成 21（2009）年度
　言語コーパス分析における数理データの統計的処理手法の検討（No. 238）
平成 22（2010）年度
　コーパスを用いた記述的言語研究と統計（No. 256）
平成 23（2011）年度
　統計手法を利用した言語データ分類（No. 277）
平成 24（2012）年度
　計量的言語データ処理法研究（No. 290）
平成 25（2013）年度
　言語変種調査における統計処理（No. 308）
平成 26（2014）年度
　コーパス頻度データの統計的加工（No. 340）
平成 27（2015）年度
　応用言語学研究における計量手法の検討（No. 353）
平成 28（2016）年度
　統計的アプローチで探る応用言語学と外国語教育のインタフェース（No. 373/374）
平成 29（2017）年度
　コーパスから得られた頻度情報の計量処理に基づく多言語の特性解明（No. 400）
平成 30（2018）年度
　言語特性の量化によるテキストの探索的・検証的分析（No. 414）
令和元（2019）年度
　言語テクストの内的構造に対する数理的アプローチ（No. 435）
令和 2（2020）年度
　第二言語の言語知識と言語産出の関係性の解明:統計的アプローチによる検討(No. 444)
令和 3（2021）年度
　言語データと学習データの融合的処理に関する統計的考察（No.456）
令和 4（2022）年度
　言語・学習・統計：統合的アプローチの検討（No. 465）
令和 5（2023）年度
　言語資料解析における量的手法（No. 469）

# No. 469 目次

石川慎一郎
はじめに　i–iii
陳 迪（神戸大学大学院生）
コーパスに基づく漢語動名詞の連体修飾後続要素についての調査　1-10
李 楓（西安理工大学）
オンライン授業移行に伴う中国の大学生日本語学習者の自己調整学習　11-26
森下 裕三（桃山学院大学）
大規模言語モデルを利用した英語の移動動詞選択要因の探索的研究　27-40
飯島 真之（神戸大学大学院生）
日本人学習者の英作文における I 使用への影響要因に関する考察―ICNALE の学習者背景調査シートに基づいて―　41-52
廉 沢奇（神戸大学大学院生）
学習者の I-JAS 対話タスクにおけるオノマトペ使用に影響する要因　53-62
中尾 桂子（大妻女子大学短期大学部）
《「思い出」 を 「作る」》に関する一考察―書き言葉コーパス・話し言葉コーパスでの使用頻度比較から―　63-82
今道 晴彦（広島大学）
ドイツ語学術論文の文体的特徴―品詞と語彙の使用に注目して―　83-94
石川 慎一郎（神戸大学）
「森を見ながら木を見る」コーパス研究の意義―複数テキストから統合語彙頻度表を作成する EJWFTG の開発―　95-122